

2024年度年末手当 妥結

輸送サービス労組 上野支部
2024. 11. 13 No. 44

速報

申17号
すべての仲間の努力を評価し
「真の笑顔と活気あふれる職場」
を創造するために、
2024年度年末手当再考を求める
申し入れ
会社回答

「再考はしない」

“定期収入がコロナ前の8割程度”なのも
“中長期収入が対価を下回った”のも
“旺盛なインバウンド需要を当社に十分取り込めなかった”
のも“人口減少や金利等の環境変化”も
私たちが社員の責任ではありません
頑張りの感謝と更なる成長を望むなら
私たちが納得できる回答を
示せ！

職場からの多くの怒りの声が出され、情報にて申17号「すべての仲間の努力を評価し「真の笑顔と活気あふれる職場」を創造するために、2024年度年末手当再考を求める申し入れ」の交渉を後押ししましたが、交渉で会社に訴えるも再考されず！

しかし、団体交渉の議論で、労使での一定の一致点が導き出せたことから、本部は11月14日に年末手当について妥結いたしました。

輸送サービス労組 上野支部
2024. 11. 13 No. 43

申17号
すべての仲間の努力を評価し
「真の笑顔と活気あふれる職場」
を創造するために、
2024年度年末手当再考を
求める申し入れ
提出！

現場で働く仲間たちの
不平・不満・不安
失望・憂念・怒りの声を
会社経営陣はわかっているのか！

私たちの努力の正当な評価と
納得できる手当の支給を求める！

本日11月13日 団体交渉開催決定

団体交渉によって導き出した労使の一致点

- ① 会社の持続的発展を通じた利益である直近の業績に踏まえ、物価等の社会的動向や生活を考慮して社員の努力に適正に還元していくとともに、そのための議論を労使双方が惜しむことなくおこなっていく
- ② 成績率の適用は、任用の基準に則り公正に判断して取扱うこととし、手当水準を補うような考えはない
- ③ 現場社員の努力による昨年度を上回る業績の結果を損なうことのないよう、すべてのサービスの信頼の基盤である「安全」をしっかりと堅持していく
- ④ 超過勤務・休日出勤が前提となる勤務作成はあるべき姿ではなく、必要な要員は確保していく
- ⑤ これまでと同様に優秀な人材確保に積極的に取り組むとともに、離職者が増えぬよう魅力ある職場づくりにつとめていく

**安全・要員問題・魅力ある職場づくり等、労使で一致し、妥結！
誰もが安心して働ける職場と労働条件の実現させよう！！**